

【記載例 2】

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇〇号 〇〇〇〇請求事件

印紙 (500円)

申立人 (被告) 〇〇〇〇株式会社

原告 〇〇〇〇株式会社

閲覧等制限の申立て

平成〇〇年〇〇月〇〇日

東京地方裁判所 民事第〇〇部〇係 御中

被告訴訟代理人弁護士 〇 〇 〇 〇 印

被告補佐人弁理士 〇 〇 〇 〇 印

上記当事者間の頭書事件につき、申立人は、民事訴訟法92条に基づき、閲覧等制限の申立てをする。

第1 申立ての趣旨

本件訴訟記録中の別紙目録記載の部分について、閲覧若しくは謄写、その正本、謄本若しくは抄本の交付又はその複製の請求をすることができる者を本件訴訟当事者に限る。

第2 申立ての理由 (省略)

「(別紙) 目録

- 1 答弁書別紙目録記載2
- 2 平成〇〇年〇〇月〇〇日付け被告準備書面(1)の第1・2(1)
- 3 乙第〇号証の添付1
- 4 平成〇〇年〇〇月〇〇日付け被告準備書面(2)の〇ページ〇行目の「また、」の次から同〇ページ〇行目の「しかしながら、」の前まで